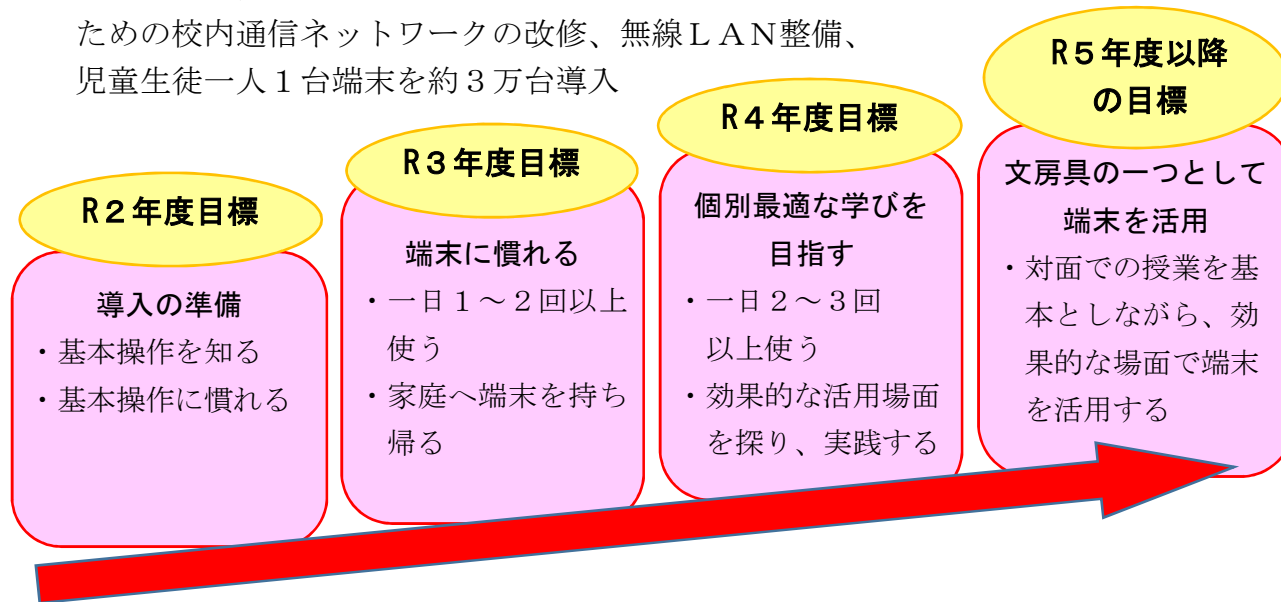


G I G Aスクール構想の推進について

[教育センター]

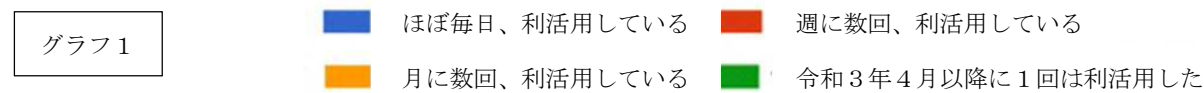
1 これまでの取り組みと今後の方向性

- ・ R 2 年度末、小・中学校における高速大容量通信に対応するための校内通信ネットワークの改修、無線LAN整備、児童生徒一人1台端末を約3万台導入

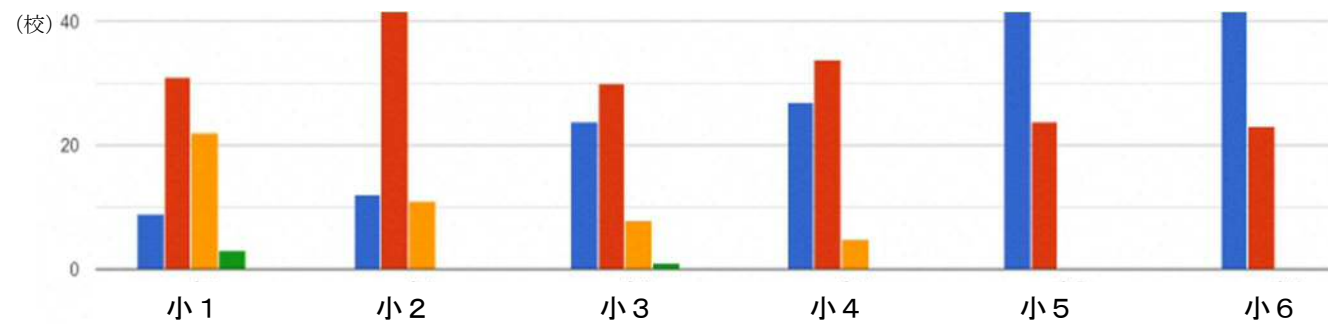


2 端末の利活用の現状 (R3. 7月13日現在)

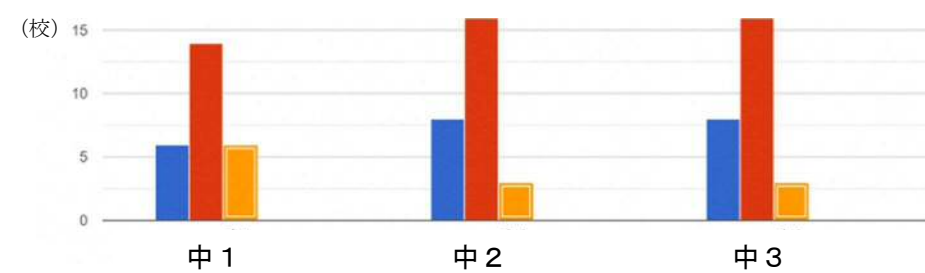
(1) 端末の利活用



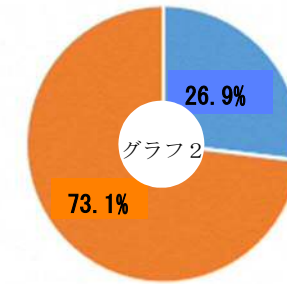
<小学校>



<中学校>



(2) web 会議システム等を利用した合同授業や専門家等による遠隔授業



<具体的な事例>

- ・ 小中連携事業として児童会・生徒会の紹介や交流
- ・ 合同遠足の事前交流 (自己紹介や活動の話合い)
- ・ 海外の学校とのコミュニケーション (英語の授業)
- ・ 研修会における大学教授の講演や指導助言

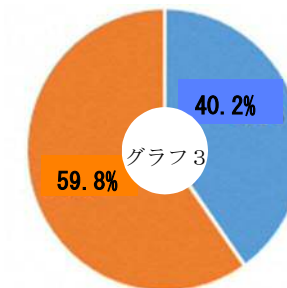
■ 実施したことがある ■ 実施したことがない

<実施していない主な理由>

- ・ 通信環境が不安定なため
- ・ 教員のスキルが十分でないため



(3) 学びをより効果的にする学習コンテンツの活用



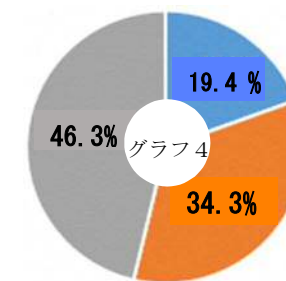
<具体的な事例>

- ・ QRコードから教科書会社サイトのコンテンツを使用
- ・ 企業作成の教材使用 (バーチャル工場見学)
- ・ NHK for School (教育動画) の活用
- ・ ハザードマップを開き、校区内の危険箇所の確認

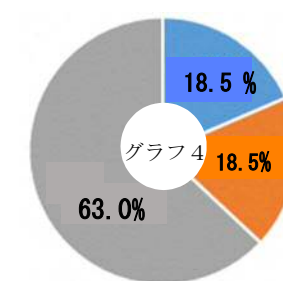
■ 実施したことがある ■ 実施したことがない

(4) 緊急時 (臨時休業等) に備えた端末の持ち帰り学習の実施状況

<小学校>



<中学校>

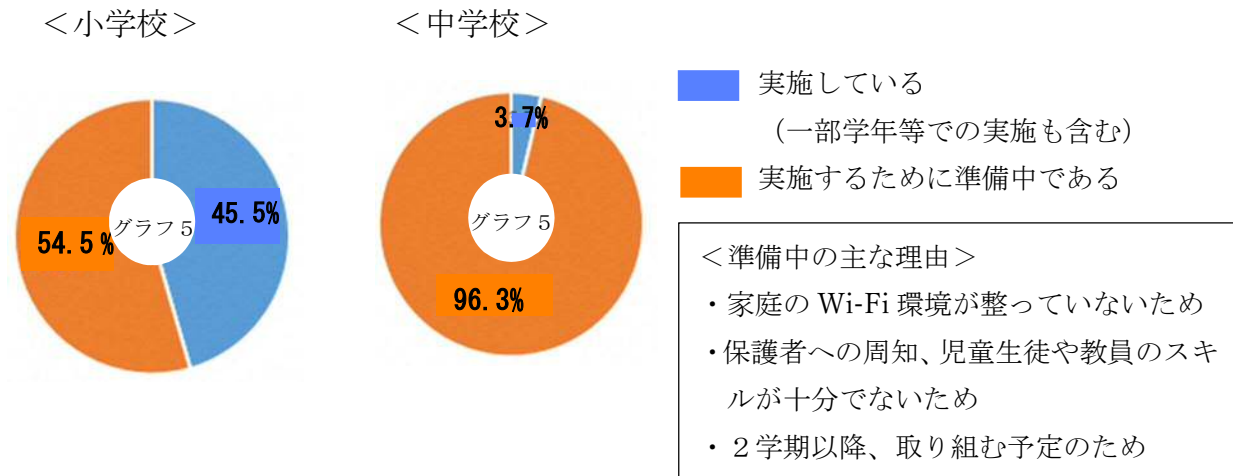


■ 準備済みであり、オンライン学習が可能
■ 準備済みだが、オンライン学習は難しい
■ 準備中である

<準備中の主な理由>

- ・ 家庭のWi-Fi環境が整っていないため
- ・ 保護者への周知、児童生徒や教員のスキルが十分でないため

(5) 通常時における端末の持ち帰り学習の実施状況



(6) クラウド型教材の導入状況

＜クラウド型教材とは＞

- ・ドリル形式の教材や学習に必要な映像資料等を、インターネットに接続することによって、簡単に使うことができるオンラインサービスの一つ



3 ICT支援員の配置

＜ICT支援員とは＞

- ・授業支援や研修支援等、各学校における日常的な教員のICT活用を支援する役割を担うもの

- ・7月から市内全小・中学校に11名を派遣
- ・各校への定期訪問（1校あたり月2～3回程度）
- ・即時対応としての臨時訪問
- ・電話及び窓口及びメールでの相談窓口の設置



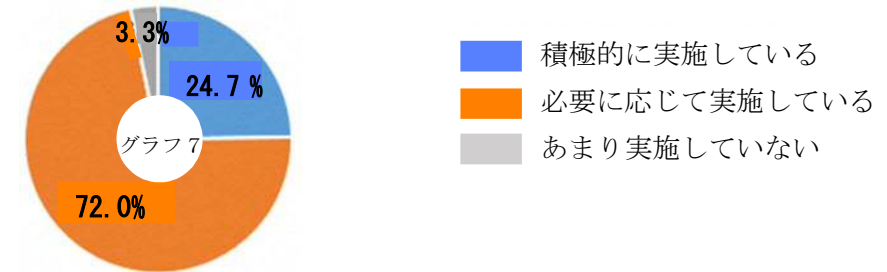
4 今後の課題

(1) これまでの授業実践とICTのベストミックス

一人1台端末が導入されても、これまでの授業の基本は変わらない。各学校でICT活用が進められているが、端末活用は授業のねらいに迫るための手段であり、目的ではない。「端末は、文房具のように子ども一人一人の学びを支えるための、便利な学習ツールの一つ」との認識をもちながら、従来の優れた授業実践とICTのベストミックスを図っていく。

(2) 情報モラルに関する指導

児童生徒への情報モラルに関する指導の実施状況



学校内で端末を利用する際は、教育ネットワーク内のフィルタリング機能により、有害サイト等には接続できない。

しかし、家庭の通信環境では対策が不十分な場合もある。今後も学校での情報モラルに関する指導（情報モラル小5講座、eネットキャラバン、PTA親学び講座等）を継続するとともに、家庭での端末使用に際してのルールづくりを支援するなど、児童生徒の安心・安全な利活用を目指す。

(3) 端末更新等への対応

今後、端末は子どもたちに必要不可欠なものとなる。約5年後に想定される端末更新、端末の故障、バッテリー消耗への対応等について、国の動向を注視しながら、継続して端末を利活用できる環境を整えていく必要がある。

(4) ICT支援員派遣事業の継続

7月の派遣事業開始後、ICT支援員や相談窓口に多くの問合せや相談や要望が寄せられている。端末の利活用が進むにつれ、問合せや相談等の件数はさらに増加することが予想される。通常の教育活動のように、教師が子どもを適切に指導できる環境が整うまで、ICT支援員派遣事業を継続したい。

(5) 定期的な教育ネットワークの見直し・改修

今年度10月までにネットワーク増強が行われ、当面は通信量増大に対応できる状態となる。しかし、クラウド型教材の導入が進む等、さらなる通信量の増加が予想される。常に長期的な視点に立ちながら、教育ネットワークの見直し、改修を継続的に進めていく必要がある。

(6) 学習者用デジタル教科書の導入

現在は、指導者用のみ各学校へ導入している。国は、令和6年度より学習者用デジタル教科書を本格導入する見通しである。今年度、市内小・中学校46校（小33校・中13校）を教科ごとに実施研究参加校に指定し、試験的に使用して、効果等の検証を行っている。今後、その結果を基に、研修等をとおして、授業におけるデジタル教科書の有効な活用について、理解を深めていく必要がある。

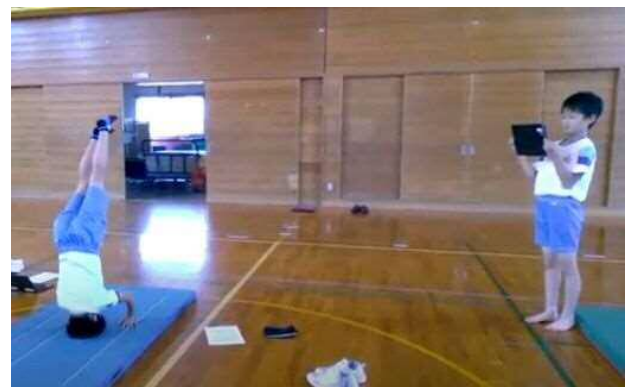
端末活用の様子



端末を活用した授業の様子①
(自分の思いや考えを入力する)



端末を活用した授業の様子②
(友達と関わりながら考えを深める)



端末を活用した授業の様子③
(小学校：体育科の授業)



端末を活用した授業の様子④
(中学校：音楽科の授業)



端末活用に関する研修
(中堅教諭等資質向上研修会)



オンラインによる研修
(2年次教員研修会)

教科書のQRコードを利用

(例) 小学3年生 理科



インターネットを使ってみよう

教科書に、このマークがあるところでは、インターネットを使って、学ぶことができるようになっています。
インターネットを使うときは、まず、先生やほご者に相談しましょう。

マークがあるページ	見られる内よう	マークがあるページ	見られる内よう
10ページ	春に見られるいろいろな生き物	92ページ	太陽とかけのいちのかわり方
20ページ	たねからめが出るようす	110, 114ページ	音が出たりつたったりするときの物のようす
27ページ	チョウの育ち方	157ページ	いろいろなおもちゃのつくり方
45ページ	トンボやバッタの育ち方	159ページ	かんざつやじっけんで使う道具の使い方
62ページ	花がさくようす	173ページ	わかったかな
72ページ	植物の育ち方		
82ページ	こん虫のからだのつくり		

使い方
右のマークかアドレスのどちらかを使って、アクセスしましょう。

マーク  アドレス <https://tsho.jp/02p/r3/>

教科書のQRコードを読み取り、教科書会社のホームページへ



「チョウの成長の様子」を動画で視聴

